

様式 1

県立水戸桜ノ牧高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- ① 生徒一人ひとりが将来の進路を見据え、自主的・自律的に学習に取り組めるようにする。
- ② 「文武両道」の精神のもと、全人的な人間性の向上に努め、豊かな心と将来への夢を育むたくましい生徒の育成に努める。
- ③ 国際理解教育、国際交流活動を通して、異文化に対する理解を深め、真の国際人たるに相応しい資質を養う。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> ① 課題を見つけ主体的に解決する力 ② 他者とコミュニケーションを図る力 ③ 仲間と協力・協働しながら互いに高め合う力 ④ 異文化に対する理解を深め、真の国際人たるにふさわしい資質 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 習得した知識・技能を相互に関連付け、課題の解決を図ることができる。 ② 思考・判断・表現 情報を集め整理・分析してまとめ、表現することができる。 ③ 人間性 互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示を口頭だけでなく、スライドやプリントで提示する。 ・ グループ活動においては、個々の心理的負担に配慮し、役割分担の明確化や、必要に応じて個別の相談スペースを確保するなどの支援を行う。

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	日常の疑問から課題を見出し、グループでの情報収集・分析・発表を通じて、探究の基礎プロセスと協働する姿勢を身につける。	外部講師を招いて「探究スタートアップ講座」を実施する。	探究の進め方を学び、身近な事象から問いを見出すことができる
2 年	自らの興味関心を社会の諸課題と関連付け、リサーチリテラシーや調査手法を習得・活用することで、探究活動を客観的・論理的なものへと深化させ、考察を構築する。	特になし	多角的な視点で分析を行い、論理的に自分の考えをまとめることができる
3 年	これまでの探究技法を用いて進路に直結した個人研究を行い、その成果を将来の生き方や社会への関わりに結びつけ、自己の在り方を深める。	特になし	探究で得た知見を、将来の生き方や進路選択に活用することができる